

アセットマネジメントOne 株式会社

2018年6月1日

株式会社みずほフィナンシャルグループ

株式会社みずほ銀行

アセットマネジメントOne株式会社

みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社

アセットマネジメント One 株式会社による みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社の 子会社化について

株式会社みずほフィナンシャルグループ（執行役社長：坂井 辰史、以下「みずほFG」）の中核子会社である株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は、みずほFGの連結子会社であり、第一生命ホールディングス株式会社（社長：稲垣 精二、以下「第一生命HD」）の関連会社であるアセットマネジメントOne株式会社（取締役社長：菅野 暁、以下「AM-One」）と、みずほ銀行の100%子会社であるみずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社（取締役社長：安藤 学、以下「MGAI」）の発行済株式全てをAM-Oneに譲渡（以下、「本件譲渡」）し、MGAIをAM-Oneの100%子会社とすることに合意したため、本日、株式譲渡基本合意書を締結しました（※1）。

マイナス金利等で運用難がつづく中、資産運用の手法や投資対象は多様化し、お客さまのニーズも大きく変化しています。特に、近年ではヘッジファンドや不動産、プライベートエクイティ、インフラ投資などのオルタナティブ投資に対するニーズが高まっています。

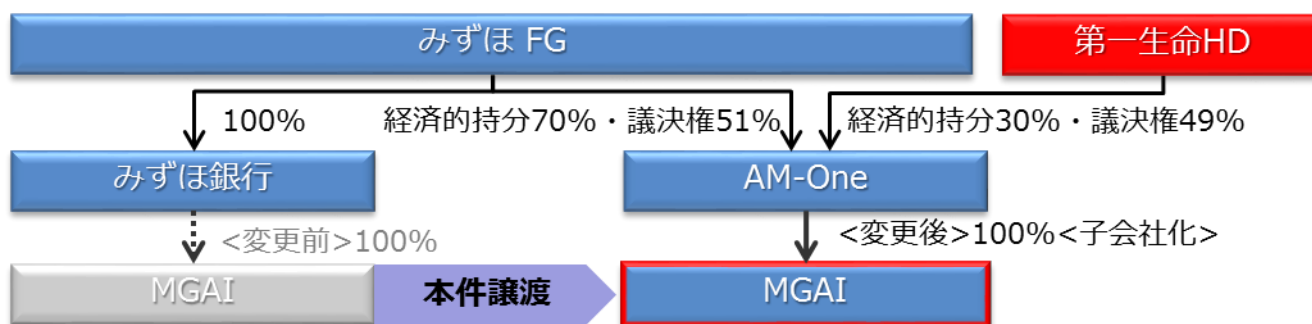
こうした中、<みずほ>はオルタナティブ投資のゲートキーピング（※2）会社であるMGAIと、アジアトップクラスの資産運用会社であるAM-Oneの経営資源を結集し、両社のオルタナティブ投資のゲートキーピングに係る各機能について、MGAIとAM-Oneが一体運営することとしました。ゲートキーピング能力と受託体制の強化を実現し、お客さまの多様なニーズにより一層応えていきます。

<みずほ>は、変化するお客さまのニーズを迅速に捉え、総合的なコンサルティングとソリューション提供を加速し、フィデューシャリー・デューティー実践のフロントランナーとしてお客さまからさらに高い評価をいただけるよう、引き続き注力していきます。

（※1）なお、本件譲渡につきましては、本件譲渡に関する事項について規定する法的拘束力のある契約の締結をはじめ、本件譲渡に必要な各社の機関決定、関係当局への届け出並びに許認可の取得を前提として、2018年度下期中の子会社化を目指していきます。MGAIはAM-One所在地への移転を予定していますが、商号、組織体制等のその他事項については今後検討を進めていきます。

（※2）外部の運用会社およびファンドを調査し、優良なファンドを選定・管理すること。

【本件ストラクチャー図】



【ご参考】 AM-One および MGAI の概要

(1)名称	アセットマネジメントOne 株式会社	みずほグローバル オルタナティブインベストメンツ 株式会社
(2)所在地	東京都千代田区丸の内1-8-2	東京都中央区八重洲2-4-1
(3)代表者	取締役社長 菅野 暁	取締役社長 安藤 学
(4)事業内容	投資運用業、投資助言・代理業 第二種金融商品取引業	投資運用業、投資助言・代理業 第一種金融商品取引業、第二種金融商 品取引業
(5)資本金 (平成30年3月31日現在)	20億円	20億円
(6)設立年月日	平成 28 年 10 月 1 日	平成 22 年 1 月 20 日
(7)従業員数 (平成30年3月31日現在)	935人	36人
(8)株主 (経済的持分比率、 議決権保有比率) (平成30年3月31日現在)	みずほフィナンシャルグループ (70%、51%) 第一生命ホールディングス (30%、49%)	みずほ銀行 (100%)
(9)資産運用残高 (平成30年3月31日現在)	投資信託 14兆8,787億円 投資顧問 41兆7,943億円	投資顧問 3,771億円
(10)直近業績 (平成30年3月期)	営業収益 1,051億円 経常利益 210億円 当期純利益 156億円	営業収益 945百万円 経常利益 136百万円 当期純利益 92百万円

以上

【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約57兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。 H P : <http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は2018年3月末時点。

商 号 等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会